

熊本県院内がん登録データに係る統計 —2024年診断症例—

医療機関名		独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
-------	---	-----------------------

○基本情報

【令和6(2024)年12月現在】

所在地	熊本市中央区二の丸1-5		
病床数	550床(一般500床;精神50床)		
追加情報	無菌室 34床		
診療科数	34科		
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08	がん登録開始基準日	2007.09.01
平均在院日数	13.1 (日)		
入院患者数	13,582 (人)		
外来患者延数	127,789 (人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 20,000 (件/概算)		
院内がん登録件数	1,835 (件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 2 / 初級者 0 / 他 0 (名)		

熊本医療センター

○医療機関からのコメント

【登録件数・症例数の多い登録部位】

国立病院機構熊本医療センターの2024年診断症例の院内がん登録件数は1835件であった。例年通り悪性血液疾患(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群等)が最も多く316件、次いで大腸(結腸・直腸)227件、前立腺198件であった。

【性別・件数が多い部位別罹患平均年齢】

男性: ①前立腺 198件 76.0歳 ②悪性血液疾患 157件 64.8歳 ③大腸 135件 73.0歳
女性: ①乳房 161件 61.4歳 ②悪性血液疾患 159件 66.9歳 ③子宮頸部 123件 51.2歳

【症例数の多い部位の主な治療方法・特色】

1)『悪性血液疾患』当院血液内科は造血・免疫細胞療法学会認定施設カテゴリ1に認定されており、同種造血幹細胞移植を実施している。また、2021年4月より小児の悪性血液疾患専門医が加わったことで、全世代に対応可能な診療体制が整った。
2)『大腸』症例に応じて、患者様の身体的に負担の少ない鏡視下手術を積極的に取り入れている。また化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。
3)『前立腺』切除しない密封小線源治療(ブラキセラピー)を推進しており、2018年から全例にスペースOARシステムを導入し、放射線合併症防止にも努めている。また、2024年3月より第4世代手術用ロボットであるダヴィンチXiを導入し、ロボット支援腹腔鏡下全摘除術を開始している。

【熊本医療センターの特徴・役割】

精神科を有しており、精神障害を合併されたがん患者様の治療に対応している。
2015年より腫瘍内科が新設され、がん薬物療法を専門に扱う腫瘍内科医を有することで、全ての種類のがん診療に対応することが可能になった。
2020年より新館にがん総合医療センターが開設したことで、より多くの患者様に寄り添ったがん治療を提供する体制を整えた。今後も地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たすため、チーム医療、医療連携の充実に努めていく。

診断年別登録件数(参考)

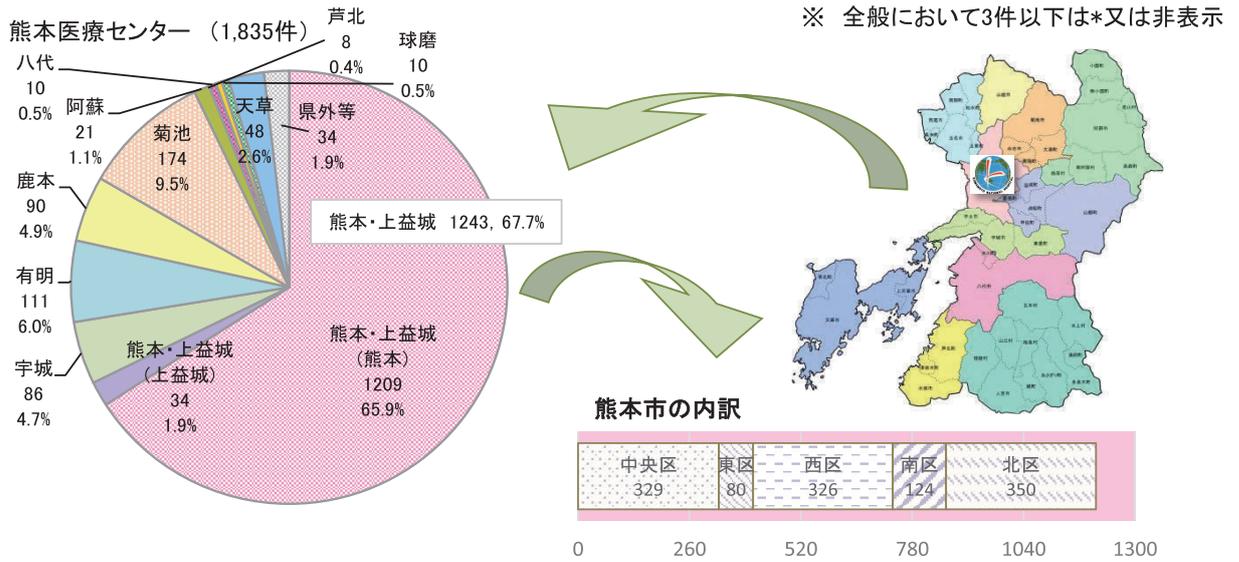


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

熊本医療センター

① 患者住所医療圏別登録の状況(2024年診断症例)

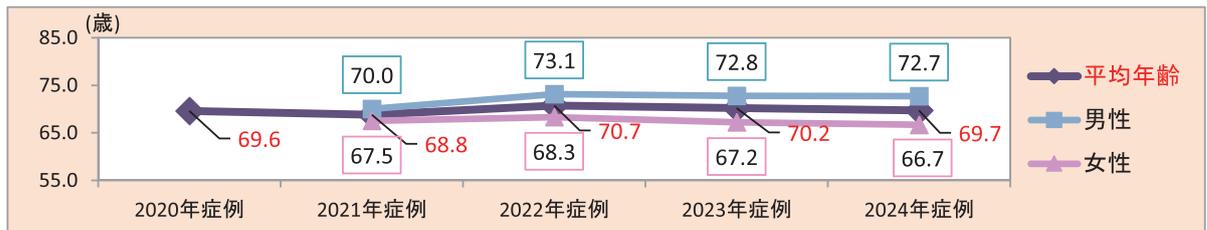


◇ 医療圏別上位5部位

医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数
熊・上(熊本)	悪性血液	184	有明	悪性血液	18	阿蘇	悪性血液	6	球磨	悪性血液	4
	大腸	179		子宮頸部	14		該当部位	各*		該当部位	各*
	その他	154		その他	13						
	乳房	129		該当部位	各9						
	前立腺	109		前立腺	8						
熊・上(上益城)	悪性血液	9	鹿本	前立腺	20	八代	該当部位	各*	天草	前立腺	12
	その他	8		悪性血液	15					悪性血液	12
	前立腺	4		その他	10					その他	6
	該当部位	各*		子宮頸部	9					子宮体部	5
宇城	悪性血液	22	菊池	乳房	6	芦北	該当部位	各*	県外等	該当部位	各*
	皮膚	12		前立腺	34					悪性血液	11
	大腸	10		悪性血液	31					大腸	4
	子宮頸部	9		その他	27					該当部位	各*
	その他	6		膀胱	20						
		子宮頸部	16								

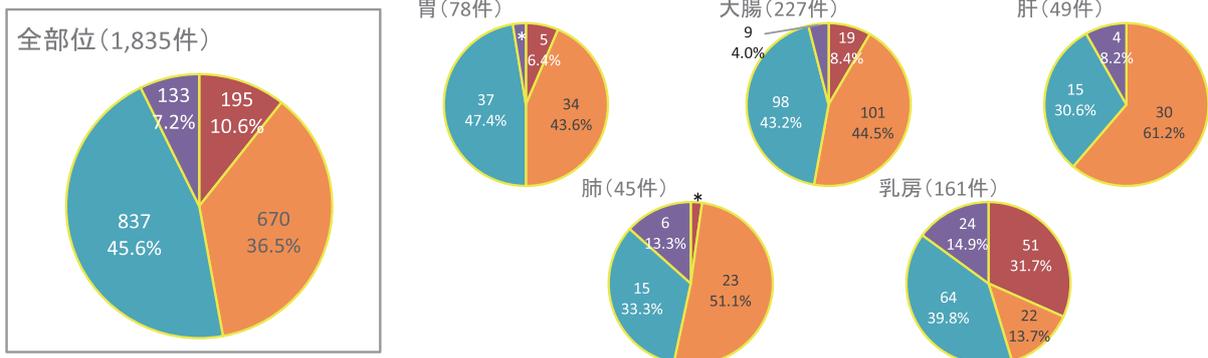
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

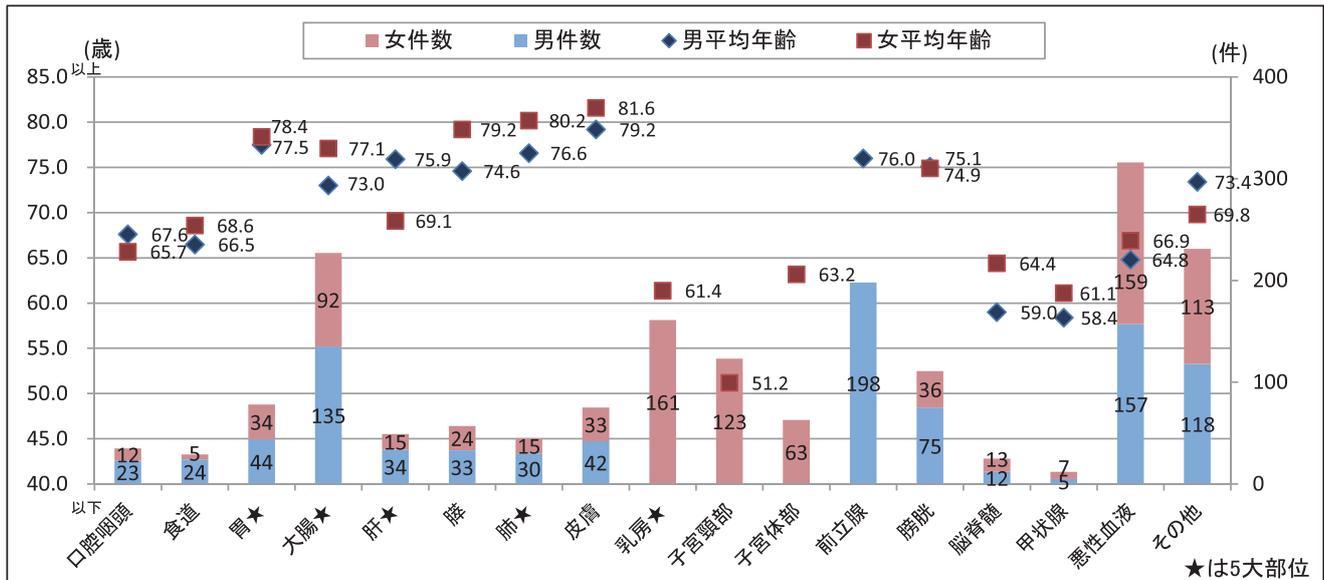


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



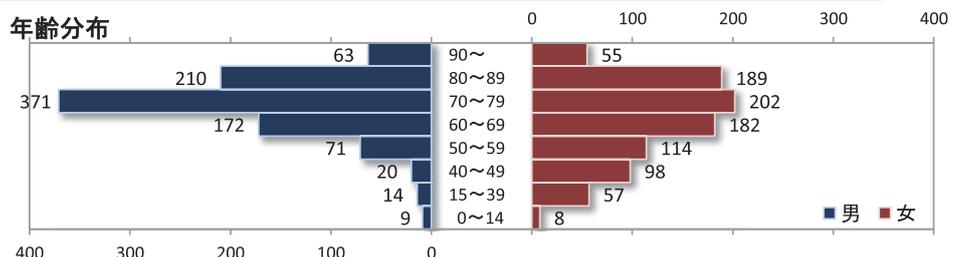
男性全体	0~14歳	15~39歳	40~49歳	50~59歳
前立腺	198	悪性血液 7	悪性血液 8	悪性血液 8
悪性血液	157	該当部位 *	該当部位 各*	5
大腸	135			大腸 11
その他	118			該当部位 各*
膀胱	75			その他 8
胃	44			口腔咽頭 6
皮膚	42			該当部位 各5
肝	34			など
膵	33	計 9	計 14	計 20
肺	30			計 71
食道	24			
口腔咽頭	23			
脳脊髄	12			
甲状腺	5			
乳房				
子宮頸部				
子宮体部				
計	930			

	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳~
前立腺	35	前立腺 98	前立腺 45	前立腺 15
悪性血液	34	悪性血液 58	大腸 37	悪性血液 18
大腸	33	大腸 48	大腸 37	大腸 11
その他	20	その他 46	その他 23	その他 8
該当部位	各12	膀胱 34	悪性血液 20	皮膚 10
膀胱		膀胱 34	該当部位 各15	膀胱 8
胃		など	など	該当部位 各4
皮膚		など	など	など
計	172	計 371	計 210	計 63



女性全体	0~14歳	15~39歳	40~49歳	50~59歳
乳房	161	悪性血液 8	子宮頸部 32	乳房 33
悪性血液	159		悪性血液 9	乳房 36
子宮頸部	123		子宮頸部 31	子宮頸部 20
その他	113		子宮体部 13	子宮体部 13
大腸	92		その他 7	悪性血液 12
子宮体部	63		悪性血液 6	その他 9
膀胱	36		該当部位 各*	など
胃	34		計 98	計 114
皮膚	33			
膵	24			
肝	15			
肺	15			
脳脊髄	13			
口腔咽頭	12			
甲状腺	7			
食道	5			
前立腺				
計	905			

	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳~
乳房	43	悪性血液 45	大腸 38	悪性血液 11
悪性血液	37	乳房 32	その他 32	大腸 9
子宮頸部	24	その他 29	悪性血液 31	膵 7
その他	21	大腸 21	皮膚 13	皮膚 7
大腸	16	子宮体部 14	膀胱 13	その他 7
計	182	計 202	計 189	計 55



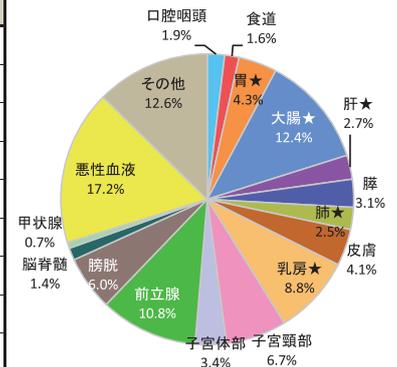
II 施設別統計

熊本医療センター

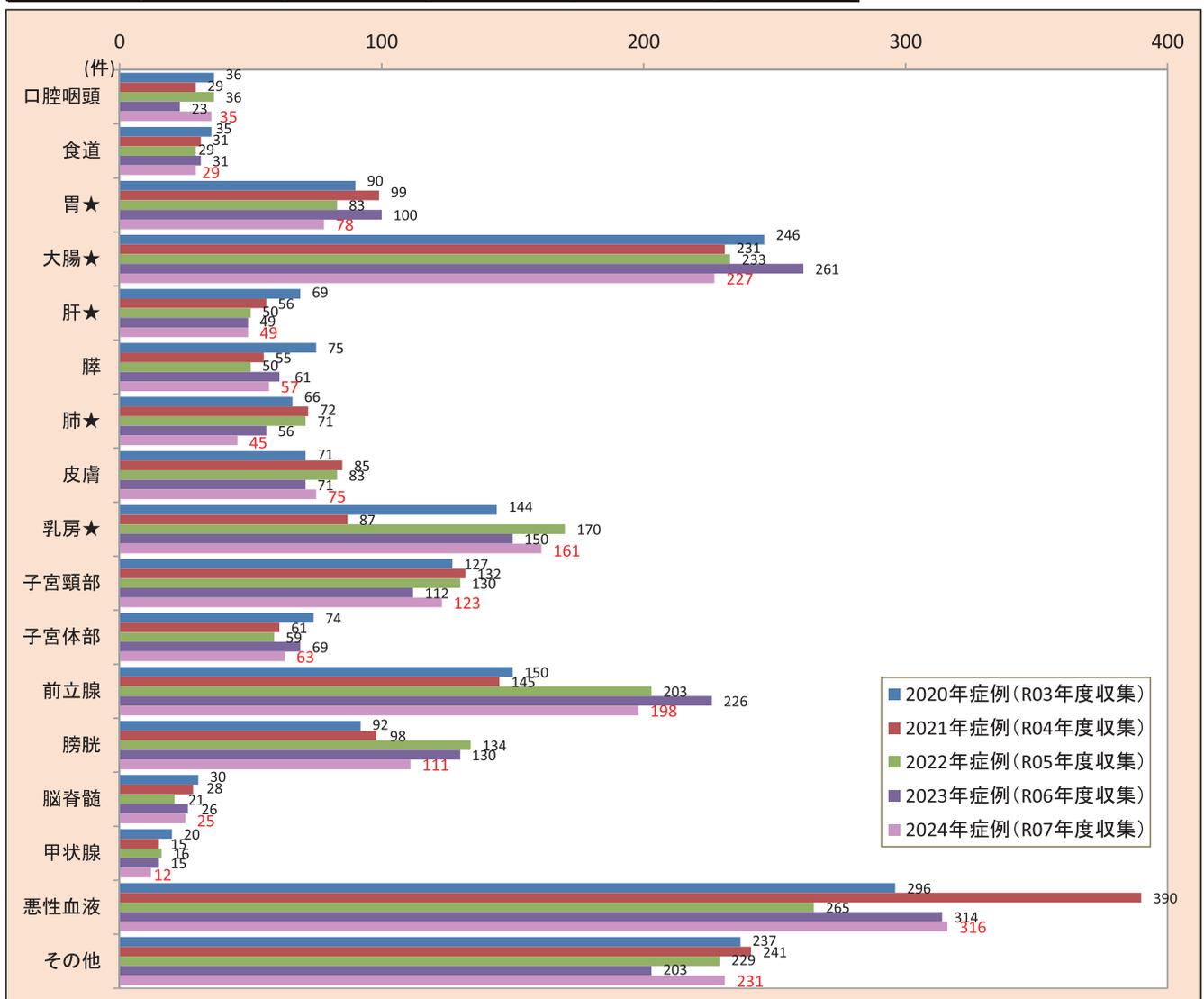
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)	2024年症例 (R07年度収集)
口腔咽頭	36	29	36	23	35
食道	35	31	29	31	29
胃★	90	99	83	100	78
大腸★	246	231	233	261	227
肝★	69	56	50	49	49
膵	75	55	50	61	57
肺★	66	72	71	56	45
皮膚	71	85	83	71	75
乳房★	144	87	170	150	161
子宮頸部	127	132	130	112	123
子宮体部	74	61	59	69	63
前立腺	150	145	203	226	198
膀胱	92	98	134	130	111
脳脊髄	30	28	21	26	25
甲状腺	20	15	16	15	12
悪性血液疾患	296	390	265	314	316
その他	237	241	229	203	231
計	1,858	1,855	1,862	1,897	1,835

2024年診断症例 主要部位別割合

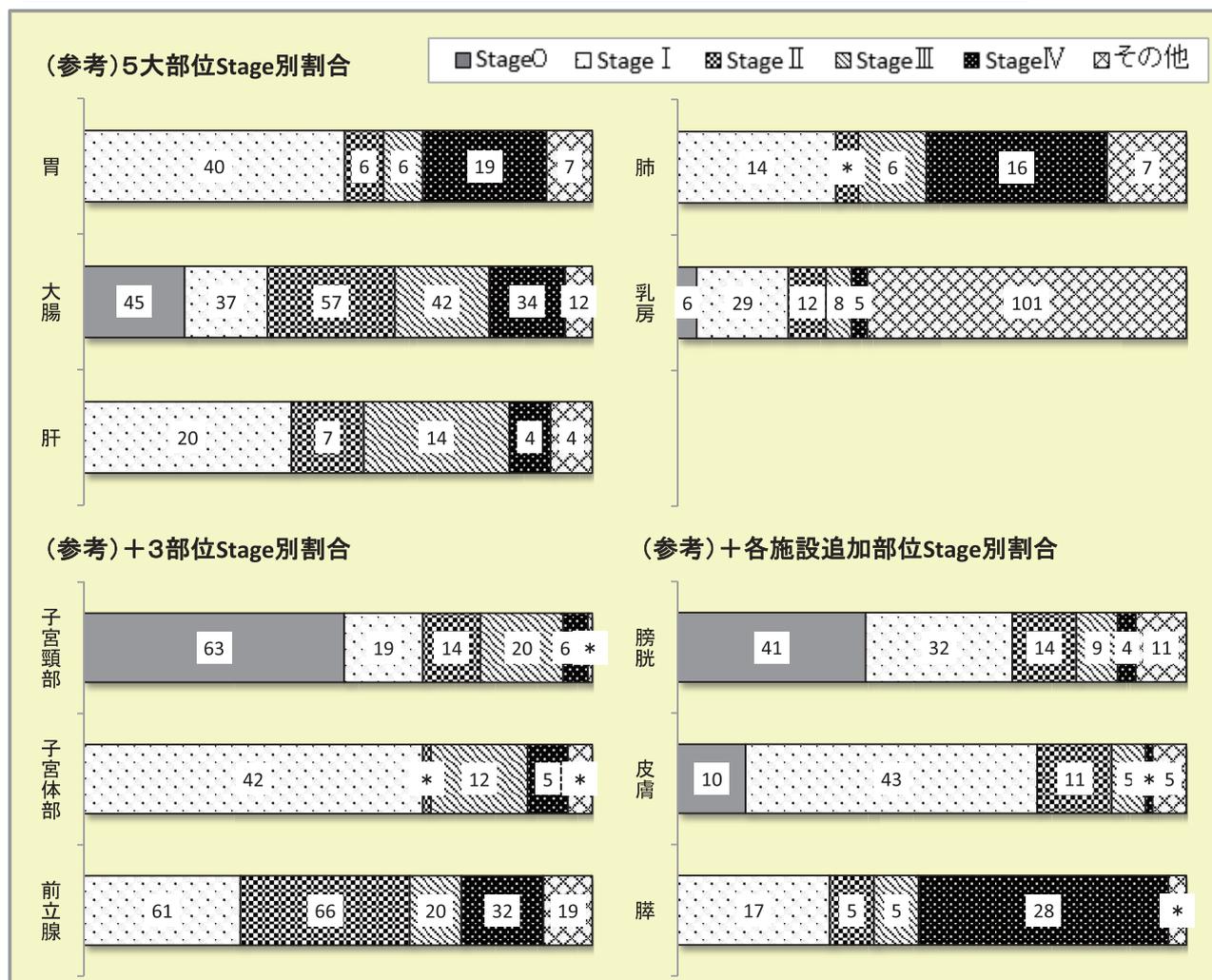


※大腸は結腸と直腸
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
 ※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
 ※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
 ※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	Stage I	Stage II	Stage III	StageIV	その他
口腔咽頭	35	*	7	*	8	11	4
食道	29	12	8	*	*	5	*
胃★	78		40	6	6	19	7
大腸★	227	45	37	57	42	34	12
肝★	49		20	7	14	4	4
膵	57		17	5	5	28	*
肺★	45		14	*	6	16	7
皮膚	75	10	43	11	5	*	5
乳房★	161	6	29	12	8	5	101
子宮頸部	123	63	19	14	20	6	*
子宮体部	63		42	*	12	5	*
前立腺	198		61	66	20	32	19
膀胱	111	41	32	14	9	4	11
脳脊髄	25						25
甲状腺	12		6	*	*	*	*
悪性血液疾患	316		39	24	18	52	183
その他	231	13	94	19	25	46	34
計	1,835	192	508	244	200	269	422



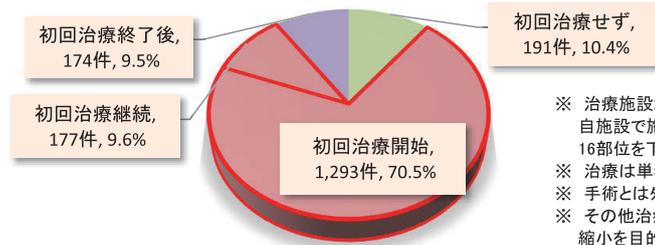
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

II 施設別統計

熊本医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

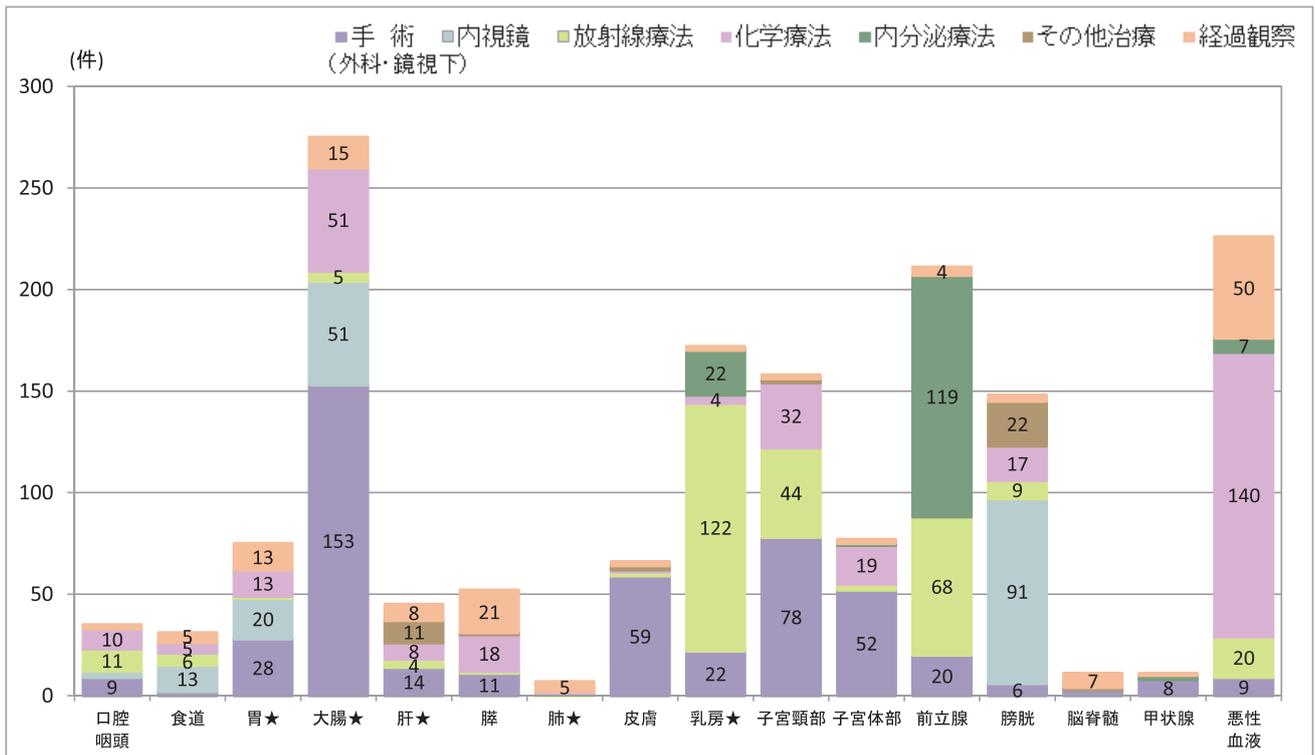
治療施設	件数
1初回治療せず	191
2初回治療開始	1,293
3初回治療継続	177
4初回治療終了後	174
8その他	
計	1,835



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

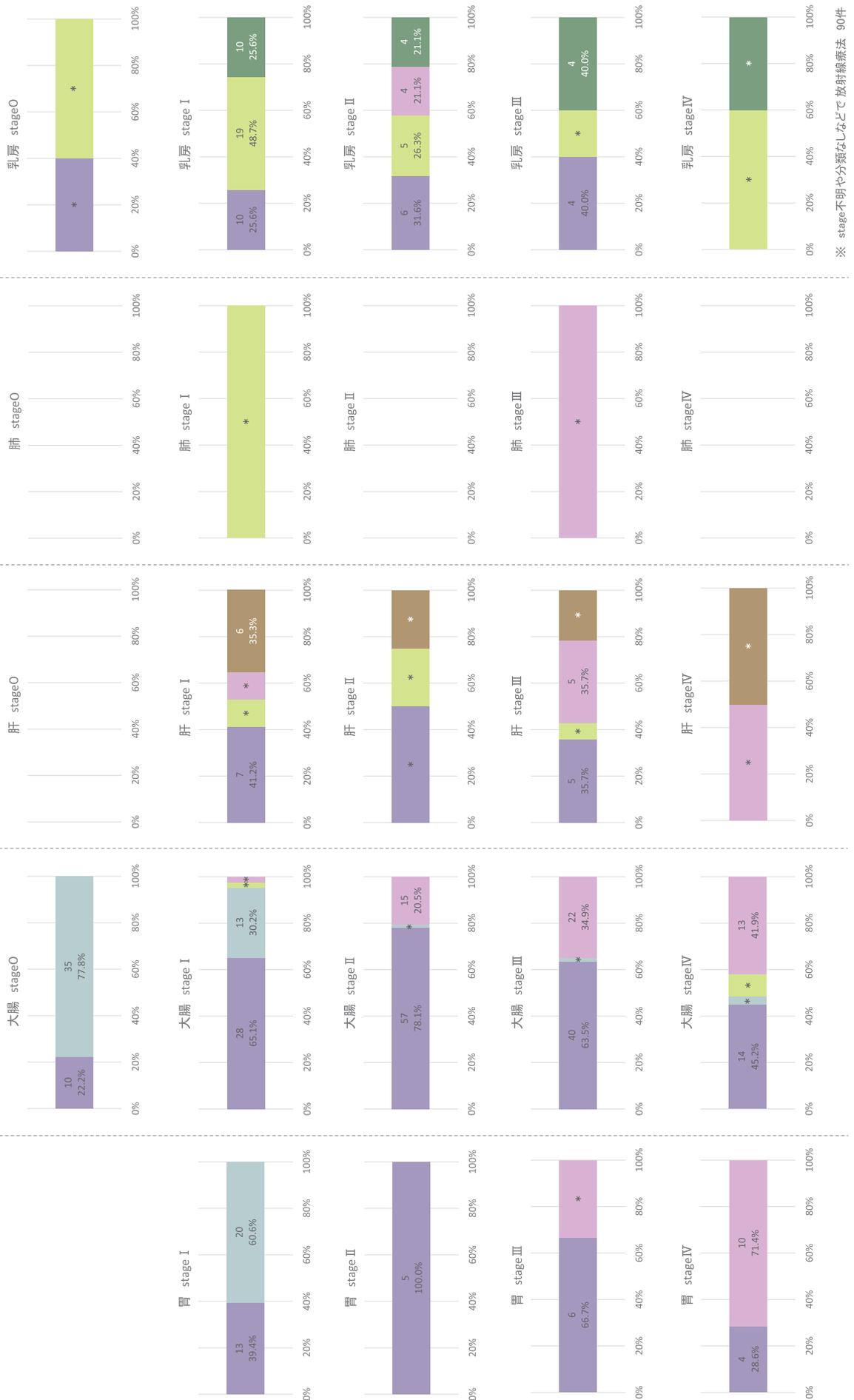
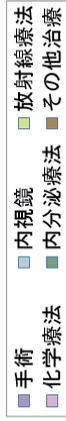
⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・手術・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭	9	*	11	10			*	35	75.0%	16.7%	8.3%
食道	*	13	6	5			5	31	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	28	20	*	13			13	75	91.5%	8.5%	0.0%
大腸★	153	51	5	51			15	275	92.3%	7.2%	0.5%
肝★	14		4	8		11	8	45	92.9%	7.1%	0.0%
膵	11		*	18		*	21	52	81.8%	18.2%	0.0%
肺★			*	*			5	7			
皮膚	59		*	*		*	*	66	94.9%	1.7%	3.4%
乳房★	22		122	4	22		*	172	95.5%	4.5%	0.0%
子宮頸部	78		44	32		*	*	158	98.7%	1.3%	0.0%
子宮体部	52		*	19	*		*	77	88.5%	9.6%	1.9%
前立腺	20		68		119		4	211	85.0%	15.0%	0.0%
膀胱	6	91	9	17		22	*	148	45.1%	54.9%	0.0%
脳脊髄	*					*	7	11	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	8				*		*	11	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	9		20	140	7		50	226	11.1%	77.8%	11.1%
計	474	178	297	319	151	39	142	1,600			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の 主な治療

- ※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 分類はUIC8版に基づく
- ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
- ※ 手術とは外科的・鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やシヤーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



※ stage不明や分類なしなどで放射線療法 90件